ROTARY CLUB OF KANAZAWA-NORTH

金澤北ロータリークラブ

1991年8月1日 第444号

例会日：木曜日 12:30～13:30
例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭
TEL〈0762〉52-2271　FAX52-2273
事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所
TEL〈0762〉22-2525　FAX24-2882
会長：中村三次　幹事：木村丹二
情報委員長：長谷川塑人

「日本の美」

金沢市文化財保存財団
理事長　桑田良夫氏

日本の美とは、一口で言い切れば「滋味の美だ」と、その本質を思います。

さらさらと流れて、よどみのないもの、観れば見る程人の心にしみ込み、胸せまる思いのするもの、これこそが滋味の美だと、私は確信します。

一例すれば、それは京都、竜安寺石庭の簡素で明快な石組、まことに単純、素朴、滋味の極みでしょう。又伊勢神宮や桂離宮の建築もそうであり、古近、新古今和歌集、芭蕉の俳句の境地にも滋味深い美を感じます。

日本の古代にはハニワが造られました。平安時代前期後期、仏教美術を経て、大和絵、特に源氏物語絵巻の柔かな色彩と秀れた構成をもつものが描かれました。鎌倉時代の武家社会にはきわめてリアルな肖像画が生まれています。源頼朝、平重盛像がその一例です。

室町期には中国の水墨画を取り込んだ雪舟と言ふ天才が完成された画面を作りました。

安土桃山時代になると障屏画と言ふ、大画面でもって大名の居城を飾る絢爛、豪華な美を生んでいます。その代表的人物は狩野永徳。時代は下がって江戸時代ともなりますと、琳派すなわち尾形光琳に代表される装飾性の強い画面になり、紅白梅図などは良い例です。他に四条派、丸山派、又南画や、浮世絵も特に異な画風として、数多く制作されています。

明治維新を経て近代に来ると、油絵、彫刻、絵画の面に、日本的な伝統の上に西洋の美術手法を取り込んだ美に至っています。この様に日本の美には二面性があり、一つは豪華絢爛、一つは素朴な滋味深いものであります。

萬葉集の中に有る歌一首

「もののふの　やそじがかわの　あじろぎに　いざようなみの　ゆくえしらずも」

－金沢北RC例会講話より－　（文責 長谷川塑人）

私の名刺

広岡　治樹

金沢北ロータリークラブへの加入をお許しいただき、心より御礼申し上げます。文字どおりの若輩者でございます。なにとぞ宜しくご指導ご叱責のほど、お願いいたします。数あるロータリークラブのなかでも、紳士的で滋味あふれるところだと、何人かの方から伺いました。謙虚に人間的な学習ができればと、願っております。

「名刺」という題を頂戴しましたので、自己紹介をさせていただきます。私は現在、華道古流の副家元ということで仕事をさせていただいております。父、広岡理魁が家元で、金沢東ロータリークラブでお世話になっております。

古流は江戸時代なかばに端を発するいけばなですが、当初から江戸の加賀藩邸と密接な関係があり、江戸期から江戸と並んで加賀の地にも多数の門弟がありました。明治初頭、四代家元に後継ぎがなく、加賀藩士として金沢にありました高弟に家元継承を請うたことから、金沢に家元が移ることとなりました。なにぶんにも通信手段も組織的にも未発達な時代でありましたので、このような事情のもとで古流は一つにまとまるすべもなく、残念ながら幾つかの会に分かれることとなり現在に至っております。私の家には、そのような経緯のもとに、歴代の家元などの伝承物が正統に多数伝わっており、なにより古流の精神が受け継がれております。そのことに、さらにそれを現代の社会に生きた価値として常に再生産し続けるべきことに、大きな責任を感じるこの頃です。ちなみに、私どもの家元家に属する会は、北陸では「柏葉会」、関東ほかでは「松盛会」「松創会」「華遊会」の名前で活動している場合が多いのです。

このような立場にありながら、実は私は6年ほど前、古流とはまったく関係のない、「リトルトリガー」というタウン誌ともオピニオン誌ともつかないささやかな月刊の出版物を始めました。今でも若輩者ですが、東京から戻ったばかりの若気の至りで、無鉄砲にも始めた仕事です。取り上げるテーマが自分には何の得にもならない真面目なものが多く、我ながら訳の分からないままに今日まで続いております。この本づくりにおきましても、老獪さといったものがもう少し自分に備わってくれば少しは楽になるのでは、と思いながらも叶わず、忙しいばかりの毎日です。

ただ、この毎月の本づくりを通して、実にさまざまな人が、さまざまな価値観や倫理感、欲望のもとに生きているのが社会なのだ、ということを、普通ではなかなか知りえないスタンスから垣間見ることができた、ということが収穫でした。それは今の自分にとって、幸せなこととも、重圧になっているとも言えます。

以上、自分のことを綴らせていただきました。お読みいただきました諸先輩には退屈な時間だったかもしれません。お許しください。

1991～92年度ベルギー短期交換学生3名が7月26日の出発に先立ち、例会場にて御挨拶をされた。

左から　木村会員ご長男　木村公彦君
（慶応義塾大学2年）
米沢(真)会員ご長女　米沢直美さん
（聖心女子大学3年）
畔柳会員ご長男　畔柳　圭君
（専修大学3年）

米寿を迎えて

中村　省三

昭和49年、金沢北ロータリークラブ会員となり、途中胃潰瘍等で３回も入院しましたが、とにかく元気で入会以来17年目となりました。

顧みますに明治37年加賀市大聖寺に生を受けて本年88才の米寿を迎えた訳であります。此間幾多苦難の道をたどったとは申せ、皆様からの格別のご引立、ご支援、ご懇情を賜りましてどうにかここまで参りました。私は此事を考えます時、本当に皆様にお礼の言葉もない訳でここに改めて厚く厚く御礼を申し上げます。

私の88年の生涯の内、特に印象深く考えます事は終戦後、ソ連に抑留の身となり約３年間酷寒零下40度の下、又彼地でも非常な食糧危機で戦友達は寒さと飢の為に次から次えと亡くなったのであります。私もたがわず極度の栄養失調になり、医師からは見離され戦友からは同情をもって観られたのでありますが、私はその時に、日本本土に上陸してその日に死んでも良いが、ここでは絶対死ねないとあらん限りの気力を振りしぼって敢闘したのであります。私の悲願が天に通じたのか、それとも神仏の加護に依るものか、どうにか昭和22年の暮に舞鶴に上陸したのであります。その時が44才でありました。以後之と同じ44年が経過して今日に至ったのであります。全く私には不思議なご縁かと思うのであります。

実は私も、もうお迎えも近いのではと存じますが、命ある限り頑張りますので、どうか従来通りご交誼の程お願い申し上げます。

ジャン・クリストフ・ローレンス君の送別謝恩会

７月９日、石亭にて午後６時30分より、行われましたが、泉ヶ丘高校の正村教頭、担任の中田真砂(生物)、中村(英語)の諸先生や少林寺拳法師範の吉川先生の他、ホームステイでお世話いただいた方々が出席されました。

丁度彼が金沢に来てから 318 日目でしたが、かなり日本語が上達し、ジャパニーズイングリッシュが飛び出したり、帰国後もこの癖がとれないのではと必配する有様でした。帰国後もカナダと日本の一層の親善のために努力することを誓ってくれました。

なお、帰国に向かうのは来る８月４日(日)で小松空港です。多数の会員の方々の見送りをお願いします。

出席会員及び夫人は高畠夫妻、松本夫妻、木下夫人、吉田会長イレクト（以上ホームステイ受け入れ会員)、中村三次会長、鈴木前会長、飯野副会長、木村幹事、坂下前幹事、石丸会員と越田会員でした。

（石丸幹夫　記）

第887回例会

◆ 7月18日(木)はれ　12:30～13:30　松魚亭

1．講話
「日本の美」
金沢市文化財保存財団
理事長　桑田良夫氏

2．出欠
出席59名、欠席26名
出席率69.41%
ビジター23名

3．来訪者(敬称略)
松任RC
高畠正光(神道)
金沢RC　小川利郎、久住治男
河野良三、本田八郎、池田典明
松本修成、前田行夫、織田義夫
金沢東RC　岡田房良、北村武司
浦田進、堀政尋、小島一紀
田中健二
金沢西RC　藤川範昭、小堀幸穂
松村弘
金沢南RC　辻弘、横倉章
香林坊RC　岩井稔、西三也
久世正次

4．幹事報告○8月12日(月)～16日(金)の金沢市内の例会は全て休会となります。

5．ニコニコボックス
鈴木君　イルクーツク訪問の為、例会を欠席しました。
清水君　金沢市使節として、イルクーツク市へ行って来ました。ドラマ劇場公演での鈴木前会長の至芸は、イルクーツク市民に深い感銘を与えました。
コバーリョフ イルクーツクRC会長から金沢市内RCとの友好提携に関する、意向打診を受けました。
関 君　お蔭様で7月10日に退院し、8月一杯家より通院加療するだけとなりました。入院中はクラブより結構なお見舞を頂き、又、皆様より暖かい励ましのお言葉等をお頂戴し、感謝にたえません。有難う御座居ました。クラブへは早く出席したいという気持ちで一杯ですが少し時間を頂き、体調を整えて元気一杯にて出席したいと思いますので、今しばらくよろしくお願い申し上げます。心からの御礼をこめて、退院報告とさせて頂きます。
卯野君　4ヶ年皆出席をうけて。
合計16,000円　(累計 110,000円)

6．今週のニュース
○ロンドンサミット、ソ連を加え新国際秩序構築及びIMF(国際通貨基金)準加盟承認。
○大相撲名古屋場所、平幕の琴富士が優勝。横綱大乃国引退。
○金沢で物理学の最大国際学会、超伝導国際会議開かれる。

第888回例会

◆ 7月25日(木)はれ　12:30～13:30　松魚亭

1．講　話「全国身体障害者スポーツ大会について」

金沢市社会福祉協議会
事務局長
常務理事　真館和博氏

2．出欠
出席54名、欠席31名
出席率63.53%
ビジター18名

3．来訪者(敬称略)
金沢RC　辻作次郎
加藤晃、久住治男
南定雄、小坂栄作
塩谷篤、横山英勝、中島輝男
金沢東RC　米沢秀男、彦田昭雄
山崎修二、小池田康成、浦田進
清原洋二
金沢西RC　渋谷弘利
金沢南RC　清水昭男、田中千隼
香林坊RC　植村章英

4．ニコニコボックス
米沢(真)君、畔柳君、木村君
今度、皆様のお蔭で子供達がベルギー短期留学に行く事になりました。ありがとうございます。
浅田(禎)君　腸閉塞になりかけまして、1ヶ月ばかり失礼しました。今日から又宜しくお願いします。
米澤(修)君、桜井君
昨日は、長谷川会員宅での情報委員会炉辺会合、大変お世話様でした。
松田君　今日は委員会別に座席を指定させて頂きました。今年度の委員会メンバーの確認ということで、よろしくお願い申し上げます。
合計16,000円　(累計 126,000円)

5．今週のニュース
○社会党新委員長に田辺誠副委員長が当選、上田哲氏善戦。
○富士銀行架空預金証書で 2,600億円不正融資。
○地元劇作家　森山啓さん(小松)死去。

7月のクラブ日誌

7月1日(月)	金沢6RC幹事会	東急ホテルにて
7月4日(木)	新会員研修会(広岡君、長原君)	松魚亭にて
7月8日(日)	歴代幹事会	松魚亭にて
7月9日(火)	交換学生送別会	石亭にて
7月11日(木)	理事会・クラブ協議会	松魚亭にて
7月19日(金)	企画・例会委員会炉辺会合	よし全にて
7月24日(水)	情報委員会炉辺会合	長谷川会員宅にて